

平成29年度 市民との意見交換会における意見の整理・集約表(行政へ送付分)

	市民からの質問・意見・要望	当日の回答	会場
北アルプス国際芸術祭について	スタッフでいた市の職員からのあいさつがなかった。案内地図はもっとわかり易いように作ってほしかった。	ご意見として承る。	大町
	芸術祭の感想など話し合える場がほしかった。	まちづくり交流課及び国際芸術祭実行委員会に伝える。	平
	国際芸術祭は今後開催されるのか。ボランティアとして参加したが、作家あつての芸術祭だと思うので、また開催されるのであれば協力したい。	12月定例会全員協議会にて詳細な評価・分析結果が報告される予定となっている。様々な議論がされると思うが、議会としても芸術祭の検証を行っていく。	常盤
	芸術祭期間中に霊松寺で演奏した影武者さんも芸術家として扱ってほしい。	ご意見として承り、実行委員会(行政)へ伝える。	常盤
	公式ガイドブックの字が細かく小さすぎる。わかりやすいものを追求する必要があったのではないか。	検証の1つである。今後開催するとなれば改善するよう求めていく。議会としても検証を行っていくが、人口減少社会の中で開催間隔もトリエンナーレ、ビエンナーレどちらがいいのかなどの分析や評価を行う。	常盤
きらり輝く協働のまちづくり助成金について	成果が見えない。助成金が終わると活動も途切れる団体があり、何も残らない。大町にはすばらしい宝がある。地域にあるいいものを、市と市民が協働で掘り起こしていくべき。	議会の事務事業評価でもこの事業について、どのような成果を期待しているか目標が明確でないとして評価したうえで、総合評価を「改善のうえ継続」とした。行政も助成団体の事業成果をしっかりと検証すべき。議会も検証していくが、今日のご意見を行政へ伝える。	大町
	大事なことは、市民活動を連携させるシステムを築くこと。市民も本気にならなくてはいけない。団体同士が情報を交換して結び付き、地域経済にも結び付ける組織、システムが必要。そういう意味では、市、農協、商工会議所も機能していない。	ご意見として承り行政へ伝える。	大町
インバウンドについて	最近は大町にも外国人がたくさん来て、農家に泊まって農業体験などをしていく。旅行エージェントは通さず、個人でインターネットを調べてきているらしい。	今のお話を参考に、インバウンド対策や情報発信について検討するよう伝える。	大町
情報発信の在り方について	大町には、地域の魅力がたくさんある。各地のお祭りやイベントなど情報発信力が不足している。積極的な情報発信をしてほしい。	地域の情報を集約する仕組みの構築や情報発信の一元化、SNSなどを活用したタイムリーな情報発信をするために、抜本的な見直しを図るよう行政側に強く伝える。	平

平成29年度 市民との意見交換会における意見の整理・集約表(行政へ送付分)

	市民からの質問・意見・要望	当日の回答	会場
商店街の活性化について	芸術祭が開催されたが、商店の積極性に差が感じられた。お客様を迎え入れるための工夫が必要だと思う。	芸術祭の開催により市民の意識が変化してきている。芸術祭の途中からではあるが、商店街も休日営業を行うなど改善が見られた。商店の自発的な取り組みが向上、継続されるよう、市、観光協会、商工会議所などを通じて、各商店の連携により、地域の活性化につながるよう、行政側に働きかける。	平
信濃木崎夏期大学について	夏期大学は椅子に座って受講できないか。あの場所で受講することに意義があることは承知しているが、平公民館には椅子と机があるため会場を移せば可能ではないか。	高齢化が非常に進むなかで必要な意見である。行政へ伝える。	常盤
木崎湖周辺の活性化について	大町市の観光資源である木崎湖の湖畔周辺が廃れてきている。地元の人から、バイパス道路整備の機会を逃したことも一因であり、過去には地元自治会からの反対があった、と聞いた。バイパス道路が木崎湖から離れており、観光客も通り過ぎてしまっている。木崎湖の水はきれいでキャンプ場もあり、立派な観光資源である。例えばキャンプ場が有料であることが原因で客離れがしているのではないか。無料で開放することはできないか。	確かに木崎湖周辺で碎石をとることの話があったが景観上の問題で反対があった。キャンプ場が市の所有地であれば検討する余地はあるが、私有地であるため難しい。トイレの清掃や木崎湖の水質調査などの問題を議会でも取り上げており、課題については、行政へ伝える。	常盤
常盤上一住宅について	上一住宅の国道沿いの土地が更地になったため、見通しがよくなってしまったことで、防犯上の不安がある。例えばみかん1箱3万円で買わされた高齢者がいる。	市役所市民課に消費生活センターがあるため、なるべく早く通報をしていただきたい。	常盤
市立大町総合病院について	大町病院の産婦人科や小児科の医師をもう少し確保し充実してほしい。	全国どこでも医師不足の状況のなか確保は難しい。医師確保することも必要ではあるが、まずは大町病院が地域医療を続けていくために、立て直すことが必要である。	常盤
	特に高齢者には、地元の病院を使う方が都合いいので、いい先生に来てもらっていい病院になってほしい。	(特になし)	社

平成29年度 市民との意見交換会における意見の整理・集約表(行政へ送付分)

	市民からの質問・意見・要望	当日の回答	会場
国営アルプスあづみの公園について	公園周辺の臭気問題もリピーターが増えない要因だと思う。また、立川市の昭和記念公園は駅からそのまま行けるため、利便性はだいぶ違うが、この地域ならではの特色を生かした観光地としてのPRが必要であり、地元の直売所や協力していただいている住民とタイアップして地場産品を売るなど、もっとPRしていくべきである。また、自転車のコースもあまり認知されていない。レースとは別に楽しさを伝えていくべきだ。	行政もうまく国営公園の活用ができていない。例えば信濃大町駅から国営公園やちひろ美術館などを周回する周遊バスがあるが、ルートや周知方法などの改善すべき点について議会としても検証・研究している。貴重な意見として承り、行政へ伝え改善を求めていく。	常盤
	あづみの公園が閑散としている。お土産屋もなくレストランでは、自動販売機の缶コーヒーを勧められた。直売所も午後3時には閉店しているなど営業努力が見られない。この状態で経営が成り立っているのか疑問である。大町市としては観光の目玉にする気はないのか。	あづみの公園は国営公園である。本来は大町・松川地区が先に開園の予定だったが、穂高・堀金地区が開園になり経済情勢が悪くなった後、大町・松川地区が開園となった経過がある。国では国民の休息を目的に施設を作ったため、利用さえしていれば採算は基本的に関係ないとの説明である。重要な問題だと認識しており、行政へ伝えていく。 全国の国営公園でも同様な状況であり、当初の想定より来園者数は少ない状況である。国の事業で都会の人々の休息場所として作ったが、地元としても活用をしていく必要があると考えている。 全国17ヶ所の国営公園のうち2ヶ所に視察に行ったが、経営優先というよりも休息を中心としていた。地域の特徴を生かした国営公園には人が集まっている。 市にも国にも現状を伝えるが、地域住民の協力も必要不可欠だと思う。来年信州花フェスタが開催される予定であるため地域住民の協力をお願いしたい。	常盤
旧大町北高校の跡地利用について	旧北高の跡地を地元で有効に使えるよう検討できないか。	所有者は長野県である。現在は大町岳陽高校の部活動で体育館とグラウンドを使用している。あと2年間は使うということであり、その後の利用方法は決まっていない。地域の住民の思いや何が必要とされているのかを聞いて、活用する方策を検討する必要があると考えている。	常盤
	防災上の拠点にも使えるような場所になればいいと思う。県と協議はできないか。	防災マップがあるが旧北高の校舎自体は耐震補強がされていないため危険となっている。そのため旧北高跡地は避難場所として指定されていない。要望として承り、行政へ伝える。	常盤

平成29年度 市民との意見交換会における意見の整理・集約表(行政へ送付分)

	市民からの質問・意見・要望	当日の回答	会場
防災について	中越地震の際にはビニールハウスが安全であったと聞いたが、有効に使うべきと思う。有効な対策について情報を集めることが重要である。	先日美麻地区で総合防災訓練があったが、身近にある物を利用した救援の講習が参考になった。こうした身近な訓練も必要である。	常盤
	常盤公民館は避難場所であるが、ガラスが多く大きな地震には耐えられない。常盤公民館に関わらず施設の耐震性や災害時の運営方法などの見直しが必要。自治会も行政任せになっており、災害時にはどう行動するのか把握ができていない。防災に関してもう一度見直して、非常事態時のシステムを明確にすることにより、市全体の指標・方針を示していただきたい。総合防災訓練もより現実味のある訓練をするべきである。	個人情報の問題を重要視すると安全には繋がらないなどの課題が多く、行政も市民も避けてしまっているように感じている。具体的に進めるよう行政に伝える。	常盤
	常盤でも同日に消防団員に来ていただき、同様の訓練をしたがとても有効な訓練であった。災害時に身近な物を利用して助かったという体験談を細かく情報収集をして、それを生かすための訓練をしないと意味がない。今後も有効な防災訓練をした方がいいと感じた。	救護の講習では、AEDの使い方の中にお風呂場での処置はどうするのかなど、様々な注意点を聞いた。日常の訓練は非常に大事である。	常盤
	神城断層地震の時にけが人が出なかったのは、近所同士で家族構成やどこで寝ているのかということが共有されていたため助け合うことができた。災害時に個人情報共有の必要性も理解できるが、自治会名簿は自治会で作成して数年で役員が変わるため、その処分が行われず流失してしまい悪用されるという危険性がある。	ご意見として承り、行政へ伝える。	常盤
陳情についての市の対応方法などを知らせてほしい。すぐに対応できない理由や進捗状況を地元で教えてほしい。	市では道路や水路などの修繕費はある程度の額を予算確保するので、多額の費用がかかる修繕等は陳情してほしい。地元に議員がないから陳情が解決しないのではなく、市では限られた予算の中で優先順位を決めて取り組んでいるので、なかなか実現できないものがあることをご理解いただきたい。自治会へのフィードバックは重要と考える。	社	

平成29年度 市民との意見交換会における意見の整理・集約表(行政へ送付分)

	市民からの質問・意見・要望	当日の回答	会場
陳情について	道路の場合、市の管轄なのか県の管轄なのかわからない。県に対する陳情があってもいいのではないか。	要望として承る。	社
仁科神明宮の参道拡幅について	議会でもしっかり取り組んでほしい。	議会にも陳情があった。遷宮までに間に合わせるよう取り組んでいる。	社
市民バスについて	ふれあいバスの時刻表や運行路線は、地元同意を経て決めてほしい。	市議会交通網対策特別委員会でも検証している。特別委員会から担当課に、市民に役に立つ利用しやすいように訴えてきた。議会でも引き続き検証していく。	社
高校への通学について	美麻からはバスや車などの乗り物を利用しないと駅には行けず、松本市の高校には通えない。しかし現状は毎日保護者が送迎しないと行かない。通学に合わせたバスは出せないのか。また乗合タクシーのサービスは検討できないのか。	市民バスには約1億円計上されているが利用者が少ない状態である。この状況で1本増やすとなるとさらに予算は掛かるため厳しい。人口減少や高齢者が増える状況の中、子育て支援も何らかの策を講じる必要がある。議会としても意見は拾いあげて行政に伝えていく。	美麻
有害鳥獣対策について	近年、八坂地区において、イノシシ、鹿、猿害が多発している。防止策の設置などを行っているが、効果が表れていない。抜本的な対策として、猟友会による駆除費用助成の増額やわな猟免許取得助成など検討いただきたい。	農林水産課も捕獲策を検討しているが、抜本的な対策がない状況である。制度整備について、行政側に伝える。	八坂
高齢者の運転免許返納に対する対策	免許返納後、交通手段がなく買い物や通院などに苦慮している。シニアカーの購入に対する補助制度の新設を検討いただきたい。	シニアカー購入助成やデマンドバスなど検討するよう行政側に伝える。	八坂
太陽光発電について	景観規制ガイドラインを制定するなど、規制強化する考えはあるのか。	現在、市開発指導要綱により制限している。大規模な開発行為については、県の条例による環境アセスメントも必要となる。小規模なものについて、市で規制する条例はない。市議会においても一般質問でその必要性について、行政に対して質問している。今後も行政側に要望していく。	八坂
美麻診療所について	診療所の医師が辞めてしまう可能性がある。診療所には子どもから高齢者までお世話になっている。もし辞めるとなれば大変な事態となる。途切れることがないように医師の確保をお願いしたい。	議会としても情報を確認し、必要があれば行政へ伝える。診療に隙間が生じないようにしていきたい。	美麻

平成29年度 市民との意見交換会における意見の整理・集約表(行政へ送付分)

	市民からの質問・意見・要望	当日の回答	会場
公衆トイレについて	自治連合会で市長に陳情に行ったが、美麻の事業は進まないのではとの印象を受けた。人口の少ない地域でも平均的なサービスを提供してほしい。特に公衆トイレはあまりにもひどい状態である。国際芸術祭で多くの観光客が来ても、汚いトイレは悪い宣伝となる。大町市の玄関口でもあるぽかぽかランドのトイレや新行のテニスコートのトイレ改修にぜひ力を入れてほしい。	行政に伝える。	美麻